

のアルバム

成人おめでとう！！

平成 28 年野洲市成人式・はたちのつどいが開催されました。第 1 部の式典では、市長からの祝辞や山下竣平新成人代表の「決意のことば」があり、参加者それぞれが自らの誓いを新たにしました。

第 2 部では、はたちのつどい実行委員会による“レクリエーション 恩師とともに「安心してください、当たりますよ。」”が催され、懐かしい友人や恩師との出会に感謝し話が盛り上がっていました。

503 人の新成人 成人おめでとう！！

▼ 1 月 11 日 野洲文化ホール



▼ 12 月 25 日 吉地



竹工芸作品



竹工芸作品を寄贈

すぎたじょうざん
杉田静山さん（吉地在住）より、銅鐸博物館（歴史民俗博物館）に優美な作品 20 点を寄贈していただきました。杉田さんは、日本を代表する竹工芸作家の一人で、滋賀県無形文化財保持者です。多くの人が鑑賞くださるよう役立ててほしいと話しておられました。

○寄贈作品展示

市役所 1 階ロビー（作品 1 点）

2 月 1 日（月）～ 26 日（金）

（土曜・日曜日、祝日は休み）

銅鐸博物館

2 月 6 日（土）～ 3 月 13 日（日）

（月曜日、2 月 12 日（金）は休館）

歴史民俗博物館 ☎587-4410、Fax587-4413

野洲川の恵みと西河原村 ～古文書から見えてくる歴史～

古文書展は、郷土に残る古文書から、野洲の歴史と文化を紹介する展覧会です。今回は、野洲市西河原を取り上げた古文書展「西河原の歴史と文化」を、2月6日(土)～3月13日(日)にかけて開催します。

西河原は、7世紀の木簡が出土したことで、全国的に注目されている地域ですが、本展は、本市教育委員会が新たに収蔵した『西河原村関係文書』を中心にひも解き、西河原の歴史を紹介します。

文献上、「西河原」の名称が確認できるのは、室町時代の明応6年(1497)に記された「いろいろ帳」(『安治区有文書』)においてです。これには、兵主十八郷の一つとして「に^(し)□□^(か)わら村」とあります。

江戸時代初期には、西河原村は幕府領とされていましたが、「元禄郷帳」では旗本の横田家領となっており、以後、同地は明治維新まで横田家によって統治されました。

『西河原村関係文書』の中には、近世・近代の同村の様子がうかがえる資料が含まれています。その一つが慶応4年(1868)閏4月の「近江国野洲郡西河原村明細調上帳」です。これは、西河原村の村内状況を大津裁判所(県庁の前身)に報告するために、同村村役人がまとめたものです。これによると、当時の西河原村の石高(米の生産高)は、847石9斗6升3合あり、家数が71軒あったことがわかります。また、同帳には、野洲川より水を引いた用水「三郷樋」の維持管理などについて詳しく記しており、同村にとって野洲川の水が大変重要であったことがわかります。元禄14年(1701)の「小比江・西河原村立会明細絵図」には、この用水の位置が示されており、水を巡る近隣の村々との関係もうかがえます。

また、明治2年(1869)4月の「村差出シ明細帳」から、江戸時代には同地において酒造業が展開していたことも確認できます。

このように、これらの資料からは、野洲川の恵みによって育まれた西河原の歴史と文化をうかがい知ることができます。2月20日(土)午後2時から、市史・郷土史学習会も開催しますので、ご参加ください。

(博物館学芸員 齊藤慶一)

元禄14年「小比江・西河原村立会明細絵図」
(西河原自治会蔵)



教育の充実に

高槻市サッカー連盟会長の北脇助三郎さん(八夫)が市内中学校サッカー部の充実のためサッカーボールを寄贈していただきました。

北脇さんは、「子どもたちがサッカーを通して少しでも強調性や思いやりを培ってほしい」と話され、市長が「子どもたちの励みになります」とお礼を述べました。

▼12月16日 市役所



農山漁村の宝に選定

須原・せせらぎの郷(掘彰男代表)が、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向けた、優良な事例として政府の「ディスカバー農山漁村(むら)の宝」に選定され、12月14日市長に報告に訪れました。

せせらぎの郷は平成20年から「魚のゆりかご水田」の取り組みを行い、環境の保全、都市住民との交流やお酒づくりなどに取り組まれたことが評価されたものです。

▼9月30日 首相官邸



100歳おめでとう

12月28日に100歳の誕生日を迎えた太田さゑ子さん(行畑 大正4年12月26日生まれ)へ山仲市長がお祝いに訪問しました。

いつまでもお元気で。